Game Report

開催場所:鹿屋体育大学

試合区分:第25回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日: 2018年10月21日(日)

試合時間:14:00~ CC:和田 敏文 FU:松永 雄平 SU:徳丸 昂

		19	—1st—	6		
九州共立大学	9 2 3	14	—2nd—	15	4 9	鹿屋体育大学
		31	—3rd—	16		
		28	—4th—	12		

第1ピリオド

鹿体大#12川尻のジャンプシュートで試合がスタート。両チーム素早い攻めをみせるもなかなか点が決まらない。九共大#11久保田のドライブ、#33小田の連続得点が決まり徐々に流れが九共大に傾く。対する鹿体大は果敢に攻めるも九共大の激しいディフェンスにより点が伸びない。たまらず鹿体大は残り4:02でタイムアウトを請求。その後、鹿体大#32久次のフリースロー、レイアップシュートで食らいつくが19-6の九共大リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド

序盤、九共大は#8上田のスティールから速攻や#1奥田のドライブからの合わせで#29鎌迫が3Pシュートを決めるなどさらに流れに乗る。対する鹿体大も#25野口の連続得点が決まり、点差を縮めていく。流れを変えたい九共大は残り6:15で1回目のタイムアウトを請求。終盤、点差を縮めたい鹿体大は#32久次のドライブ、#12川尻のインサイドプレーで攻めるも33-21の12点差で九共大リードのまま第2ピリオドを終えた。

第3ピリオド

開始早々、両チーム激しい点の取り合いとなる。九共大#11久保田の3Pシュートを皮切りに#18MOHAMEDの力強いインサイドプレー、#14田川の3Pシュートで鹿体大を寄せつけない。対する鹿体大も#12川尻の3Pシュート、#21池浦との連携プレーで着実に点を重ねていく。九共大の流れを断ちたい鹿体大だが九共大#11久保田の連続3Pシュートが決まり、64-37の九共大リードで第3ピリオド終了。

第4ピリオド

最終ピリオド、序盤から両チーム激しいリバウンド争いを繰り広げる。少しでも点差を縮めたい鹿体大は#25野口の3Pシュート、#9長谷川のドライブで攻めるも思うようにシュートが入らない。対する九共大は#11久保田が14点連続で決め、完全に鹿体大を突き放す。流れを変えたい鹿体大は77-46となった残り5:05でタイムアウトを請求。だが、九共大#29鎌迫の3Pシュート、#10橘がシュートを沈める。終始、九共大がリードを保つ展開となり92-49で九共大が勝利を収めた。